# Kurume University

## Faculty of Literature Alumni Association

Bulletin No.29

久留米大学文学部同窓会会報　第29号

# contents

Kurume University


目次・令和8年度総会・懇親会案内 ………………………………… 1

卒業式・卒業祝賀会・入学式 ……………………………………………… 2

同窓生紹介（小井手大貴さん） ……………………………… 3～4

奥八女へ行ってみよう！ ……………………………………… 5～6

戦後80年特集 横瀬昭幸さんインタビュー ……………………… 7～8

戦後80年特集 広島平和記念資料館、長崎原爆資料館 …… 9～10

久留米大学前駅開業25年 ………………………………………… 11

佐世保日帰りバスツアー報告 …………………………………… 12

近況報告（会員便り） ……………………………………… 13～14

令和7年度総会・懇親会 …………………………………… 15～16

予算決算報告、活動記録 …………………………………………… 17

退職された先生、訃報、編集後記 ………………………………… 18


## 令和8年度 文学部同窓会総会・懇親会

**令和8年6月6日（土） 12時から**

**ハイネスホテル久留米**

詳細については決まり次第、当同窓会Facebook及びInstagramにてお知らせいたします。

## 卒 業 式

2025.3

## 卒業祝賀会

2025.3

## 入 学 式

2025.4

**文学部同窓生限定**

## Instagram

文学部同窓会広報委員会が発信します!
Facebookページよりもー足先に更に少々ツッコんだ内容とか・・・
フォローバックはしませんのでご安心ください

Instagram

## 同窓生紹介

八女の指定管理施設計5施設を運営している株式会社YMサービスに勤務している

# 小井手 大貴さん

（令和2年卒）

福岡県八女市星野村出身。
情報社会学科 中西ゼミに所属。
大学時代も株式会社YMサービス（池の山キャンプ場）でアルバイト。
趣味は温泉・サウナ巡り。

## 心がまあるくなる宿「池の山荘」

和モダン溢れる癒しの空間　くつろぎのスタイルは人それぞれ。
皆様のスタイルに合わせて和室、和風呂付き客室、洋室、和洋室など、様々なお部屋をご用意、日帰り温泉もご利用可能。お昼であれば、ランチもやっております。抹茶を使用したソフトクリームも販売中です。

▲池の山荘外観

### 小井手大貴さんの現在のお仕事内容

新卒でインテリアメーカーで旅館、ホテル向けの営業として3年勤務後、地元八女の（株）YMサービスに転職、現在は旅館のフロント業務を中心に従事しています。

星野製茶園さんの抹茶を使用したソフトクリーム

| バニラ | ミックス | 抹茶 |
|---|---|---|
| 400円(税込) | 420円(税込) | 420円(税込) |

### 近くのおすすめスポット

池の山荘近くには、「星の文化館」がございます。「星の文化館」は土日・祝日そして平日でも昼間から望遠鏡が公開されている全国的にも、稀な天文台です。【要予約】
平日、1日3組限定にはなりますが、ネット予約のみの星文送迎付プランもあります。そのため夕食にアルコールを飲んでも大丈夫です。

くわしくはこちら

星の文化館

星野村星空

## 星の温泉館きらら

露天みはらしの湯

楽月の間 休憩室

※2025年11月時点、故障中

家族風呂　1,500円(税込)

ご家族やカップル、ご友人でご利用いただける家族風呂「彩（いろどり）の湯」「宙（そら）の湯」。お風呂の出窓を開け半屋外気分でご入浴いただけます。

## 【池の山荘】

和洋室

子膳プラン　夕食（一例）

特別会席プラン 夕食（一例）

※季節によって器、内容は異なります。

お部屋のベッドの一部は「星野民藝家具」を使用。
お子様のプランはもちろんのこと、会席プランのご用意もございます。ご家族、ご友人とのゆったりした時間をお過ごしください。[年中無休]

チェックイン／15:00、チェックアウト／10:00

## ㈱YMサービスが製造、販売のクラフトビール

▲べんがら村で製造

池の山荘、キャンプ場事務所にて650円(税込)で販売中。

## 池の山キャンプ場

街灯は少なめです。星野村の満天の星空を楽しんでもらうための取組のひとつです。キャンプ場ロッジ計15棟、バンガロー計9棟、テントサイト25張です。
BBQセット、炭、毛布の貸出しや販売がございます。[年中無休]
食材は八女市内のスーパー等でお買い求めください。

ロッジ「なでしこ」
1泊18,000円(税込)～

チェックイン／14:00
チェックアウト／10:00

詳細はホームページをご覧ください。

**交通アクセス**　[車でお越しの方] 広川インター、八女インターより車で約45分。

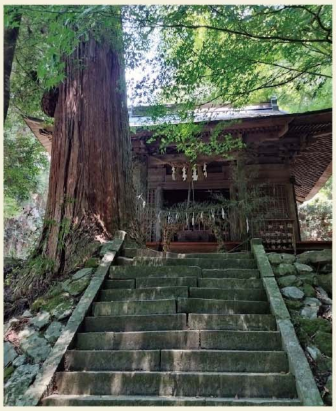
㈱YMサービスには池の山荘以外にも施設が6つございます。

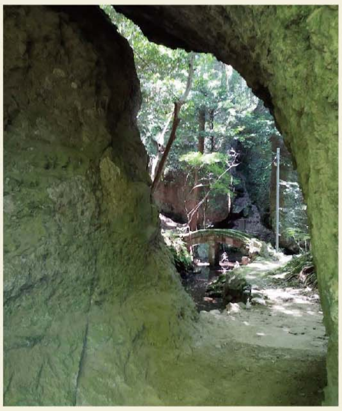
※掲載内容は2025年11月時点のものです。

奥八女（星野村・矢部村）の
見どころなどをご紹介!

# 奥八女へ行ってみよう!

**星野村や矢部村は、南北朝時代は懐良親王、良成親王の御在所及び没した地であり、江戸から昭和戦前期まで星野金山によって盛衰を繰り返した地でもありました。**





## 室山熊野神社

〒834-0201 八女市星野村室山

星野氏の始祖・八郎胤実が1226年（嘉禄2年）に紀州熊野権現を勧請して建立しました。室山神社や無漏山十二社権現とも言われおり、山上に無漏山泡来院岩念寺もありました。明治に入り、神仏分離令で岩念寺は破却され室山熊野神社となりました。

また社の隣には樹齢500年以上といわれるご神木「室山の大杉」、周りは巨石に囲まれ神秘的な空気に包まれて圧巻されます。

## 茶の文化館 眺望も素晴らしいお茶のテーマパーク

〒834-0201 八女市星野村10816-5

八女茶の歴史やお茶の種類などの解説展示や八女茶を使った茶そばやスイーツが食べられます。また石臼茶ひき、手もみ体験があり、引いた抹茶は自らたてて飲むことも出来ます。

## 星野村農産物直売所びそん

〒834-0201 八女市星野村9783番地1

星野村で採れた農産物、加工品を販売しています。里芋が入ったヨモギ団子がオススメ。

## 八女津媛神社

〒834-1401 八女市矢部村北矢部4014番地（神窟）

神話によると八女という地名の発祥となった神社。

境内の「神の窟」と呼ばれる岩屋の天井から滴り落ちる雫は「媛しずく」と呼ばれ、この神社に祀られている八女津媛が顔を洗った石清水と伝えられています。また巨岩の造形は神秘性を醸し出しています。

## 杣の里 観光物産交流施設

〒834-1402 八女市矢部村矢部3277-1

矢部地域の農産品を中心に加工品やお土産を販売。またレストランも併設しており、鶏ガラ+いりこの出汁、手打ちの太く短い「やべ将軍そば」がオススメ。

## 良成親王陵墓（大杣公園内）

〒834-1401 八女市矢部村北矢部上御側

懐良親王の後を継ぎ征西将軍となった良成親王（後村上天皇皇子）の御陵がある歴史的公園。宮内庁陵墓で代々五條家の子孫が守部に任命されて管理しています。

## 杣の大吊橋（秘境 杣の里渓流公園内）

〒834-1401 八女市矢部村北矢部6707番地7（本川内）

1988年に誕生、長さ150メートル、幅は120センチ、水面からの高さは56m。側面がネット網なので更にスリルがあります。絶景が見れるのですが高所恐怖症の人は足がすくむでしょう。ちなみに渡った先はすぐに行き止まりです。

# 戦後80年特集

# 横瀬昭幸さんインタビュー

横瀬昭幸（よこせ てるゆき）さん
1939年生まれ、1964年久留米大学医学部卒、同大学医学部付属病院医局を経て横瀬医院を開設、1984年に公益財団法人長崎平和推進協会※の理事、1997年に副理事長、2003年から2021年まで理事長を務めた。平和意識を高めるための取り組みを進める団体・個人への助成事業や、平和案内人の育成、派遣などに尽力した。

久留米大学医学部（昭和39年）卒業の横瀬昭幸さんに長崎での戦争体験（原爆）についてお話を伺いました。

当時6歳だった横瀬さんは、原爆の中心地から山を越え、約10キロ離れた旧北古賀村（現長崎市古賀町）で原爆に遭いました。8月9日は、朝から空襲警報が鳴り、国民学校の1年生だった横瀬さんは、防空壕で先生の代わりだった6年生から勉強を教わっていたそうです。その後、警報が解除、注意報になったため、同じ1年生の友達3人と約10m近くある柿の木に登って遊んでいました。横瀬さんが、柿の木の上部に近い枝に腰かけ、空を見上げていたところ、島原の方からキラキラ光る物体が2機飛んで来るのが見え、B29だとわかりました。1機は写真を撮っていた機体のようで、もう1機がまっすぐに長崎の方に飛んでいったそうです。そして友人に「B29が来たぞ！」と言って、持っていた竹棒を銃に見立てて「バンバンバンバン」と叫んで機体を打つ真似をしていたところ、目の前に青白い光が広がり、山の上位のところで「ピカッ」っと驚くほどの光になったそうです。横瀬さんは、その「ピカッ」に驚き気絶して柿の木から落ちてしまいますが、幸いにもふわふわした芋畑が衝撃を吸収したようで大事には至りませんでした。横瀬さんの上に重なりあうように倒れていた友人は、気づけば防空壕に逃げ込んでいたそうですが、横瀬さんは、なんとなく体が熱いような変な気持ちだったので、川で泳いでいたそうです。川からあがってしばらくすると爆風で飛ばされた紙切れやら、焼けた10円札の破片等が空からひらひらひ落ちてきたそうで、友人と、「こっちが大きい」「いやこっ

## 平和案内人※による資料館周辺ガイド

今回取材で巡ったコースは、浦上天主堂コース（原爆落下中心地、平和公園、山里小学校、如己堂・永井隆記念館、浦上天主堂）でした。

平和案内人の方からは、ガイドブックには載っていないこと、例えば平和祈念像はプロレスラーの力道山がモデルだった、当初は白色だった。また広島の原爆ドームのように浦上天主堂の被爆遺構がのこされなかった理由など、徒歩で巡りながら細かく説明いただきました。より理解が深まりおススメいたします。

※平和案内人
被爆の実相と平和の尊さを次世代に伝えていくために活動しているボランティアガイドで長崎原爆資料館・国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館や、平和公園周辺の被爆建造物等を一緒に巡りながら、解説していただけます。現在144人在籍されているそうです。

原爆落下中心地

平和公園

ちの方が大きい」と遊んでいたそうです。そうしていると、当時横瀬さんの父親が大村海軍共済病院の軍医長（台湾の病院に出征中）であったこともあり、その部下の副官の方が、オートバイに乗ってきて、「触ったら駄目！早く帰って風呂に入りなさい！家から出てはいけません！」と言われたそうです。

そして夕方になると浦上方面からけが人が続々と現れ始め、中には裸で、目玉が半分出かかった人もいて、トコトコトコトコ歩いてこられていたそうです。当時、国道が砂利道で、母親から「道の端に落ちた人を連れてきなさい！」と言われて、友人と４人で抱えて運んだそうです。途中、倒れている人を引っ張ろうと腕をつかむと、ペロリと皮がむけた人もいるなか、避難所まで連れて行き、庭にござを敷いて寝かせて、「チンク油」という白い塗り薬を障子紙用の糊の刷毛で塗ってあげたそうですが、刷毛を肌につけた瞬間「きぃー！」といってポロっと亡くなる人もいました。増え続ける患者、にぎり飯を配ったり、自身も食べたりして、真っ暗になるまで治療が続き、明くる日には、患者の傷口にうじ虫が湧いていた…

その後も救護所を手伝い、迎えた15日。国民に敗戦を告げる昭和天皇のラジオ放送を、大人が正座して聞いていた。どうして泣いているのか不思議だったそうです。

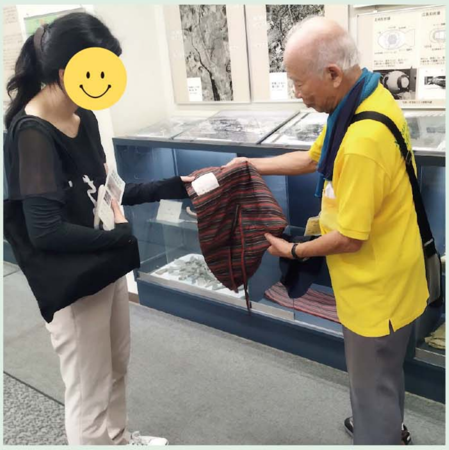
その後、横瀬さんは医師となり、（公財）長崎平和推進協会の理事長も務め、改めて原爆の惨劇がだんだん忘れ去られるようなっていくことを感じ、紙芝居でも何でもいいから語り継いでいく重要性を痛感され活動につないでこられました。

最後に現在の日本の社会に対して横瀬さんは、「なんかね～追い詰めて、追い詰めて、追い詰めた方が勝ちだっていうふうな時代になってきよるみたい。そこはいかんなと思ってね。」まさに思いやりの心を忘れてはいけないという信念で生き抜いてこられ、辛いことでもプラス思考で乗り越えられてこられた方だから自然と人が周りに集い、多くの団体のお世話を無償でされてこられたのだろうなとインタビューをしながら感銘を受けました。平和を愛し、人を愛し、温厚で優しい大先輩でした。

（取材／林田・阿久根）

※公益財団法人長崎平和推進協会
「核兵器廃絶と世界恒久平和の実現」を目指して、会員や市民からの協力のもとに活動している公益財団法人。主な活動として被爆体験講話の実施、平和案内人の派遣・育成、ピースネット、国際青年平和交流事業、講演会等の開催などを行っています。

**モデルコースが5つあり、コースによりますが1時間～2時間で複数箇所を歩いて巡ります。**
**案内人の方の交通費2,000円が必要です。案内人1人に10人まで。詳しくは（公財）長崎平和推進協会HPをご参照ください。**



山里小学校内原爆資料室

如己堂

浦上天主堂

# 広島平和記念資料館

1945年に世界で初めて原子爆弾による被害を受けた広島。その惨劇を世界中の人びとに伝え、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に寄与する目的で1955年に開館しました。

本館の常設展示は、「導入展示」、「被爆の実相」、「核兵器の危険性」、「広島の歩み」の4つのテーマに分かれています。メインは「被爆の実相」で、被爆者やその家族からの目線で、その被害の過酷さや苦しみながら死んでいった人々の無念と、遺族の深い悲しみが、伝わってきます。

また「8月6日のヒロシマ」のゾーンでは、建物などの物理的被害の他、原爆の熱線、爆風、放射線が人に大きな被害を及ぼしたことを亡くなった方が着用していた衣服や黒焦げになった遺体や熱線で火傷を負った方の写真などで惨状がイメージできる展示になっています。

東館では原爆投下前の広島の歴史の「広島のあゆみ」、核兵器開発から広島への使用及び廃絶に向けての「核兵器の危険性」の展示があります。

更に巨大なタッチパネル式の学習テーブルがあり、原爆等に関する事項を調べ、学ぶことができます。

| 広島 | |
|---|---|
| エノラ・ゲイ | 原爆搭載 |
| リトルボーイ | 原 子 |
| プルトニウム239 | 核 |
| 約14万人（推計） | 死 |
| 7万9130人※ | 負 傷 |
| 約63% | 対 人 口 |

| 広島平和記念資料館 | |
|---|---|
| 226万4543人 | 来館者数 |
| 72万8385人（32%） | 外国人来館 |
| 200円（大人） | 観 |

※1945年内

この度、横瀬さんのインタビューと併せて広島及び長崎の資料館に出向きました。

私が今回訪れ、特に印象深かったことは、原爆が非人道的と言われる中の一つに、放射線によってDNAに影響を与え健康障害を引き起こすことです。当初は白血球減少を招き、それを克服してもいつ発症するかわからない癌を誘発、再発するなどし、被爆者の中には10回を超える手術を受けている方も多いのです。

また原爆の破壊により被爆地周辺の病院や診療所も灰燼に帰しているために多数の負傷者への早期の治療が困難だったこと。そのために自力以外の移送は列車やトラック、人力となりました。その救護所の薬品在庫も乏しく、海水をかけるだけしかできなかったところもあり

# 長崎原爆資料館

| | 長崎 |
|---|---|
| 機（B29） | ボックスカー |
| 爆 弾 | ファットマン |
| 物 質 | ウラン235 |
| 者 数 | 7万3384人（推計） |
| 者 数 | 7万3909人※ |
| 被災者比 | 約62% |

| | 長崎原爆資料館 |
|---|---|
| （2024） | 81万825人 |
| 者数（2024） | 12万2412人（26%） |
| 覧 料 | 200円（大人） |

1955年長崎文化会館5階の原爆資料展示室に始まり、現在の姿は1996年の建て替え工事により長崎原爆資料館と改称され開館しました。

資料館の展示は4つのゾーンに分けられ、「1945年8月9日」では原爆投下前の長崎の町並み、市民の営みが展示されています。次の「被害の実相」では、多くの人々の命が奪われ、熱線や放射線等により生き残った人々の痛みや苦しみを物語る資料や画像、そして小学校の爆風や熱によってねじ曲がった給水タンク、再現した浦上天主堂の側壁などを展示。また「被爆者の証言」という映像コーナーでは、日本人だけでなく、外国人被爆者のお話も、映像で視聴することができます。そして「核兵器のない世界を目指して」では核兵器開発の歴史や戦後の国際情勢、反核運動などの年表や核保有国の拡大、保有本数などが紹介されています。

最後に「ビデオルーム・Q&Aコーナー」では米国側の映像を使った「ながさき原爆の記録」及びアニメーション「8月9日長崎」が上映され、また平和や原爆に関するクイズが用意されています。

［参考資料］広島・長崎　各資料館（パンフレット、図録、HP）、「長崎原爆AtoZ」

ました。特に熱線による重度な火傷などで筆舌に尽くしがたい痛みの中でまともな治療も受けられず亡くなった方が膨大だったことです。

その他、日本の復興が進んでいく中でも火傷などの見た目での被爆者へのいじめや被爆地出身ということなどで結婚、就職への差別の酷さや原爆の後遺症などで働けない人などに対する国の経済的支援等が遅れたことも決して忘れてはならないでしょう。

最後に同窓生の多くの皆さんも小学時の修学旅行で資料館を訪れているでしょうが、やはり一定の歳を重ね再訪するとまた違った見方や思いをするでしょう。是非、再度資料館を訪れ、各々いろいろな捉え方や思いを馳せてもらえればと願って止みません。

（取材・林田）

# 久留米大学前駅 開業25年

25th anniversary

## 2000年3月11日に久留米大学前駅が開業し、2025年3月11日、開業して25年となりました。

久留米大学前駅は、用地取得、建設費を久留米大学が負担し、用地や駅舎は久留米市所有となり維持管理費を負担しています。

この駅の誕生により久留米大学生及び南筑高校生を中心に西鉄バス以外での通学手段が加わり、利便性が格段に向上しました。お世話になった卒業生も多いかと思います。

開業から2023年9月末までJR九州子会社、JRサービスサポートによる業務委託駅でしたが、2023年10月からJR九州の直営駅となっています。駅員在勤は7時30分～15時。窓口業務は無し。また開業以来1日に上下1本ずつ特急ゆふが停車しています。

2000年3月11日、久留米大学、久留米市、JR九州共催のオープニング式典及び当時の三島久留米大学理事長から久留米市へ駅舎などを寄贈するセレモニーも行われました。

▲久留米大学前駅開業記念入場券

（協力）久留米大学総合企画広報室

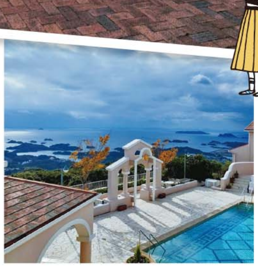
# 佐世保日帰りバスツアー

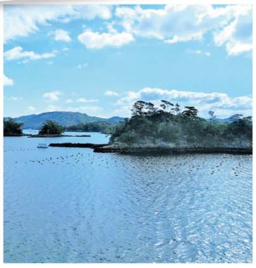
One-day bus tour

コロナ禍の時期に交流事業が出来なかったことや文学部が創立30周年を迎えたことなどを含めた交流事業として2024年11月23日、大学を退職されセカンドライフを満喫されている木藤先生・狩野先生もご参加いただき同窓生32人で秋の佐世保を楽しんでまいりました。

メインは九十九島遊覧船乗船と佐世保市街や九十九島を見下ろしながら弓張の丘ホテルからの優雅な昼食でした。この日、誕生日の方がお二人いたのでホテル側からサプライズでケーキをいただきました。

この後、佐世保港付近を自由散策しました。昼食時間が長引いたために予定に入っていたさせぼっくす99は省かれましたが、ご参加いただいた同窓生にはご満足いただけたようで良かったです。





**ご参加いただいた同窓生の感想**

誕生日もお祝いしてもらい、本当に感動しました。とても思い出深い旅行になりました。ありがとうございました。【情報社会学科　平成19年卒　井口愛衣さん】

バスツアーに単独で申し込みましたが懐かしい友人と会え、楽しい時間を過ごすことができました。木藤先生との会話も楽しく、九十九島の美しさと新鮮で美味しい会席料理に心と身体のリフレッシュができました。サプライズの誕生会も思い出残る一場面で親睦が深まりました。企画・運営してくださった皆様に感謝します。【社会福祉学科　平成16年卒　岩永直美さん】

JTB勤務 村上理果子さん（国際文化学科 平成28年卒）に計画立案していただき、当日も添乗員として同行いただきました。

# 文学部同窓会

# 近況報告

**この近況は、令和7年4月に、皆さまからいただいたものです。**

**心理学科　令和7年卒　石倉　滉人**
ずっと行きたかった九州で4年間を過ごし、社会人でまた関東に戻りますが、また、大好きな九州に戻って来たい!! その際には久留米を絶対訪れます!! ありがとうございました。

**心理学科　令和7年卒　平川　さやか**
慣れない環境ですが、頑張っています。

**社会福祉学科　令和7年卒　宮﨑　咲里**
不安なことが多いですが、自分のペースで頑張ります。

**社会福祉学科　令和7年卒　久家　一馬**
仕事・生活に慣れるために頑張っています。

**国際文化学科　平成13年卒　濱田　祐嗣**
韓流ブーム前の1990年代末に韓国の姉妹校に留学させていただき、卒業後縁あって韓国政府機関大阪事業所に就職しました。市場調査業務に携わって20年になります。今年は大阪・関西万博会場内での仕事もあり、国際文化学科で学んだことや、興味をもったことに関わることができ、嬉しく思っています。大学のインスタグラムをいつも楽しみにしています。

**社会福祉学科　令和6年卒　島本　うらら**
現在、教員として学校で働いています。
可愛くて元気な子どもたちと楽しく学習したり、元気に運動場を走り回ったりとヘトヘトですが、楽しい毎日を送っています。同窓会がある5月31日は勤務校での運動会と重なってしまい、欠席させていただきます。近況を書いている現在は運動会に向けて毎日、練習に励んでいるところです。また、同窓会があれば出席できたらいいなと思います。

**情報社会学科　平成18年卒　松本　沙緒里（旧姓　杉本）**
2006年に卒業して早20年が過ぎ、現在は東京に暮らし始めて20年が経とうとしていますが、もう少しで福岡よりも長い年月が経つのかと思うと驚きです。去年、命をかけて双子を産み、第3子の子どもと育児奮闘中です。里帰りして久留米に再び触れ、改めて良い所だなと思った次第です。

**社会福祉学科　平成24年卒　原野　慶子（旧姓　岡）**
卒業して、もう今年で36才になります。
去年、懇親会に友人と息子と参加させていただき、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。今年は仕事にも復帰し、やんちゃな息子2人の育児に目まぐるしい時もありますが日々頑張れています。育児が落ち着いてきたら、また参加したいなと思っています。

**国際文化学科　令和6年卒　神﨑　凌**
卒業してから、東京で就職して1年経ちました。毎日多忙であっという間でしたが、楽しく充実しています。久留米大学で過ごした4年間のおかげで自信もつき、色々と大変役に立っています。

**社会福祉学科　令和4年卒　原口　七菜子**
宮崎県立日南くろしお支援学校で高1の担任をしています。
初めての担任なので、責任を感じながら頑張っています。

**国際文化学科　平成17年卒　古澤　寛恵（旧姓　鳥飼）**
運送業に関わって9年目になりました。予備校に通う18歳の長男、中2の次男と日々を忙しく過ごしています。
子ども2人とも大学への進学を希望しているので、私自身が大学で得た様々な思い出に少しでも子どもの役に立つことがあればと話を続けています。

**国際文化学科　平成25年卒　上釜　千佳**
大学で教えるようになって2年目です。
まだまだですが、学生とともに学んでいきます！
いつか久留米大学で教えられるように頑張ります。

**国際文化学科　平成18年卒　浦　飛鳥（旧姓　堀）**
今、ハウステンボスで働いています。インバウンド担当部署で英語はもちろん、他言語が飛び交う中楽しくやっています！
沢山の花や、イルミネーション、花火など楽しめるイベントも盛り沢山なので、ぜひ遊びに来てください♪
夏には、世界唯一のミッフィーエリアも誕生しますよ♪

**心理学科　平成29年卒　唐　文瀟**
卒業から早くも8年、現在は日本で永住権を取得し、家を建てて穏やかな生活を送っています。今回は残念ながら欠席させていただきますが、皆さまとの再会を心より楽しみにしております。

**社会福祉学科　平成19年卒　今村　恵実子（旧姓　永池）**
地元で相談支援専門員として地域で暮らす障碍者のお手伝いをしています。あっという間に40才!!
同窓会の日は、娘の保育園の運動会なので参加できませんが、いつか参加出来たらな…と思っています。
つよし会長fight—☺♪

**心理学科　平成26年卒　石住　理恵**
今、夜の喫茶店で近況を書いています。
最近は、すっかり東京の街も賑わいを取り戻し、外に出られなかったのがウソみたいです。とは言え、物価など何もかもが値上がりしてしまい中々福岡へ帰省できていません。
そろそろ本場の豚骨が恋しいです。

**国際文化学科　平成23年卒　越智　彩織（旧姓　山田）**

この4月から子どもが保育園に通い出しました。
現在、行く前になると絶対「イヤだー」と大泣きで少しかわいそう…と思いつつ私も5月から職場復帰のため、なんとか親子で乗り越えていきたいです!!
アッという間の子育てだと思うので、楽しんでいけたらと思います。

**国際文化学科　平成9年卒　今井　志穂（旧姓　千住）**

今年!!長男が久留米大学へ進学しました!!高3より目指しはじめ、指定校推薦で法学部へ入学しました。サッカー部に入ることを楽しみにしていて、もうすでに入部。楽しく充実した日々を送っているようです。友人も少しずつできてきた様子。勉強もしてほしいですね!!

**国際文化学科　平成24年卒　矢頭　優花（旧姓　石﨑）**

新卒で入社した会社も13年目になりました。そして、福岡から離れて13年、名古屋に住んで8年目になりました。地元に帰省した際に友人に聞き、共通の友人が愛知に住んでいることを知りました。高校、大学と友人だった友人に久しぶりに会えて、今は子どもを含めてよく遊んでおります。方言で話せる環境が心地いいです。

**情報社会学科　平成25年卒　谷口　恵美（旧姓　千北）**

2年前に男の子を出産し、育児奮闘中です！
9月に第2子を出産予定です。仕事ではエクセルを使用する事が多く、大学で学んだ関数がとても役に立っており、独自でツールを作ったりしています。ZIPのから揚げ食べたいなぁ ☺

**国際文化学科　平成29年卒　小嶋　裕**

中学校教員として忙しい日々を送っています。間もなく10年目を迎えるところとなり、中堅教員として更なる成長を目指しています。
私事ですが、戸建てを構えて公私共に充実しております。

**国際文化学科　平成16年卒　鈴木　亜矢**

物が増えすぎて整理処分しなくては、と思いながらの春がまた終わります。
年末頃に再び思い出して、ぐだぐだして年を越し、春を迎え…というのを数年来繰り返しています。

**国際文化学科　平成8年卒　中野　悦子（旧姓　田﨑）**

いつも年賀状のやり取りをしていた同じゼミの2人と、LINEでつながり、会話を楽しんでいます。今はそれぞれ遠くに住んでいてなかなか会えませんが、おすすめの本（文学部らしく…）などを話して懐かしい気持ちになります。

**社会福祉学科　平成24年卒　鶴　美弥**

卒業したのは、社会福祉学科ですが、大学院は心理に進み、現在、臨床心理士、公認心理師を取得後、スクールカウンセラーとして働いています。社会人入学だったので、まだ現役バリバリで仕事しています。最近は自宅でもカウンセリングをしており、主に不登校のこどもたちを元気にすることに力を入れています。

**心理学科　平成22年卒　今田　真莉絵（旧姓　安部）**

臨床心理士、公認心理師として福津市の精神科病院に勤務しています。現在は児童思春期、成人急性期病棟の患者さんを担当しています。

**国際文化学科　平成16年卒　荻野　宏美**

当時は国際文化学科に在籍し、主に英語を学んでいましたが、時が経ち福祉に興味が出てまいりました。現在、社会福祉士になるべく、猛勉強（？）しております。

**社会福祉学科　平成24年卒　土江　優香子（旧姓　大野）**

児童発達支援センターで変わらず働いています。保護者さん同士をどうつないでいくと良いのか、試行錯誤しています。皆に会ってパワーをもらいたいです。

**国際文化学科　平成16年卒　植松　美代子（旧姓　岡本）**

1ヶ月前にコロナに感染してしまい、ずっと味覚がありません。改めて後遺症、怖いなと思いました。40代になり、健康の尊さを思い知らさました。

**国際文化学科　平成24年卒　菊野　和真**

卒業してから早いもので13年…
回り道も色々しましたが、社会人生活も通算10年になりました。現在はB型事業所の支援員として厳しくも楽しい日々を送っています。福岡市から毎日通った4年間はかけがえのない宝物です！先生方ともまたお会いしたいです。

## 令和7年度30回 総会･懇親会返信用ハガキ景品当選者

| 賞　品 | 氏名（出身学科/卒業年） |
|---|---|
| JCBギフト券（2万円分） | 石倉　滉人さん（心理学科 令和7年卒） |
| ふるさと小包（5,000円相当） | 平川さやかさん（心理学科 平成7年卒）<br>濱田　祐嗣さん（国際文化学科 平成13年卒）<br>島本うららさん（社会福祉学科 令和6年卒）<br>松本沙緒里さん（情報社会学科 平成18年卒）<br>原野　慶子さん（社会福祉学科 平成24年卒）<br>神﨑　凌さん（国際文化学科 令和6年卒）<br>原口七菜子さん（社会福祉学科 令和4年卒） |
| クオカード（1,000円分） | 宮﨑　咲里さん（社会福祉学科 令和7年卒）<br>久家　一馬さん（社会福祉学科 令和7年卒）<br>古澤　寛恵さん（国際文化学科 平成17年卒）<br>上釜　千佳さん（国際文化学科 平成25年卒）<br>浦　飛鳥さん（国際文化学科 平成18年卒） |

# 令和7年度 文学部同窓会総会・懇親会

5月31日（土）12時より第30回定期総会を御井学生会館ミーティングルームにて開催しました。

令和6年度決算報告及び令和7年度予算、令和6年度事業・活動報告及び令和7年度事業・活動計画を了承いただきました。

続いて12時30分より学生食堂「欅」にて懇親会を行い、併せて豪華賞品が当たる抽選会を行いました。

懇親会参加者は、同窓生が100人を超え、お子さんは49人でした。人数としては過去最高でした。1期生（1996年）～今年3月の卒業生まで幅広い年齢層にて賑わいました。

次回開催の令和8年度総会・懇談会については1ページに記載しております。是非、ご検討ください。

## 定期総会の様子

## 懇親会の様子

## キッズスペース

＼今回も社会福祉学科の学生さんたちに
子どもたちのお世話をしていただきました!／

## 文学部同窓会 令和6年度決算・令和7年度予算

（単位：円）

**借方**

| 款 | 項 | 令和7年度予算 | 令和6年度決算 |
|---|---|---|---|
| 事業費 | | 6,290,000 | 5,420,540 |
| | 旅費 | 800,000 | 442,420 |
| | 会議費 | 490,000 | 339,713 |
| | 総会費 | 1,800,000 | 1,511,703 |
| | 渉外費 | 150,000 | 38,420 |
| | 印刷費 | 300,000 | 211,200 |
| | 会報費 | 1,900,000 | 1,503,596 |
| | あのく祭援助費 | 200,000 | 200,000 |
| | 補助費 | 300,000 | 279,677 |
| | 広報費 | 150,000 | 54,225 |
| | 寄付金 | 200,000 | 0 |
| | 奨学費 | 0 | 16,000 |
| | 記念事業 | 0 | 823,586 |
| 事務費 | | 5,310,000 | 4,774,417 |
| | 事務局人件費 | 3,900,000 | 3,722,285 |
| | 通信費 | 170,000 | 122,930 |
| | 消耗品費 | 150,000 | 104,297 |
| | 福利厚生費 | 720,000 | 661,391 |
| | 備品費 | 200,000 | 47,300 |
| | 雑費 | 150,000 | 101,144 |
| | 支払手数料 | 20,000 | 15,070 |
| 積立金支出 | | 2,200,000 | 1,200,000 |
| | 基本金支出 | 200,000 | 200,000 |
| | 事業積立金支出 | 2,000,000 | 1,000,000 |
| 予備費 | | 513,163 | 0 |
| 小計 | | 14,313,163 | 11,394,957 |
| | | | |
| 次年度繰越金 | | 0 | 1,903,163 |
| 合計 | | 14,313,163 | 13,298,120 |

**貸方**

| 款 | 項 | 令和7年度予算 | 令和6年度決算 |
|---|---|---|---|
| 会費収入 | | 11,820,000 | 10,350,000 |
| | 入会金 | 11,820,000 | 10,350,000 |
| | | | |
| 利息収入 | | 40,000 | 41,035 |
| | 預金利息 | 40,000 | 41,035 |
| | | | |
| 雑収入 | | 550,000 | 554,115 |
| | 雑収入 | 550,000 | 554,115 |
| | | | |
| 小計 | | 12,410,000 | 10,945,150 |
| 事業積立金取崩 | | 0 | 0 |
| 前年度繰越金 | | 1,903,163 | 2,352,970 |
| 合計 | | 14,313,163 | 13,298,120 |

## 令和6年度 文学部同窓会 **活動記録**

令和6年

4月 1日 文学部第33回入学式

2日 広報委員会（ジョイフル）

13日 会計監査（千歳会館）

13日 定例幹事会（千歳会館）

5月18日 第29回総会・懇親会（ミーティングルーム・欅）

30日 広報委員会（千歳会館）

6月28日 千歳会（寛永通宝）

7月 8日 連合同窓会運営委員会（そう馬）

26日 広報委員会（千歳会館）

27日 移動幹事会（山祇屋）

9月28日 定例幹事会（千歳会館）

11月23日 日帰りバスツアー（佐世保）

12月 7日 国際交流懇親会（ZIP）

14日 千歳会（千歳会館）

令和7年

1月25日 移動幹事会（ビストロ イイダ）

2月 5日 連合同窓会運営委員会（そう馬）

15日 商経同窓会久留米支部会（ホテルニュープラザ）

3月21日 文学部第30回卒業式・祝宴（創世）

25日 財務委員会（千歳会館）

29日 定例幹事会（千歳会館）

# 2025年3月に退職された先生方

**社会福祉学科**
門田 光司先生

**国際文化学科**
塩田 裕明先生

**情報社会学科**
玉岡 兼治先生

**心理学科**
石田 有紀先生

**外国語**
ロバート・シャテラン先生

## 訃報

元文学部教授（国際文化学科）安藤裕介先生が令和7年5月にお亡くなりになりました。

在学中は、生徒が興味を持つような内容の講義も多く、学問の面白さを知る貴重な時間でした。また、先生は温厚でユーモア溢れるお人柄でしたので、多くの学生に慕われていました。先生から学んだことが今の私の仕事（教員）にも大きな影響を与えています。安らかなる眠りをお祈り申し上げます。

平成23年卒　幹事　永冨 優子(安藤ゼミ)

安藤 裕介先生

## 編集後記

今年は戦後80年ということもあり、20年ほど前に複数回お会いしていたご縁から、当時医学部同窓会副会長だった横瀬昭幸先生に今回インタビューをお願いし、貴重なお話をお聞きき出来、併せて広島・長崎の原爆資料館を取り上げました。

先生へのインタビューが決まりまして、知識の底上げを図ろうと早速図書館で原爆関連本を借りたり、戦後80年番組をテレビで視聴したりしていました。すると広島で被爆され英語で被爆体験を講演されている小倉桂子さんがある番組で「メディアと教育」が重要だと答えられていました。この言葉は心に突き刺さりました。戦争体験者は近い将来居なくなり、そうなると「メディアと教育」しかない…私なりの解釈は、「メディア」は原爆のことや先の大戦のことを風化させないために定期的に掘り起こすなどして国民に伝え続ける。「教育」は原爆の悲惨さや先の大戦がどうして起こったか、どうして日米開戦まで踏み切ったのか？等、やはり近現代史の学習が基礎であり、アジア太平洋戦争全体を理解し、教訓とすることではないかと。

また重要なことは、平和を単に唱えるのは簡単で戦争を引き起こした当事者のロシア大統領やイスラエル首相も平和という言葉を臆面もなく使っています。本物の平和は、国民がそれなりの意識を持つ人が一定数必要で、しかも不断の努力で維持し続けなければならないでしょう…しかし現在、ウクライナやパレスチナは戦場になっていますし、多くの国でポピュリズムが吹き荒れ揺らいでいます。日本も今や対岸の火事と侮れないでしょう。

さて今回会報に取り上げた原爆（使用）については歴史的に重大な出来事の一つですが、噛みしめることで微力ながら一人でも多くの同窓生に気に留める、考えていただける一助になれば幸いです。

最後に、来年2026年4月には当、文学部同窓会は創立30周年を迎えます。現段階では未定ですが、ハイネスホテルで行う懇親会の規模や内容をグレードアップするとか企画を何かするかもしれません。何か決まりましたらFacebookページや広報委員会のInstagramに早々に掲載いたします。時折覗いてみてください。

（林田）

### 編集STAFF広報委員会

●柳田　あかね　●阿久根　佳奈子　●林田　貴晃

### 会報への投稿・取材など募集！

同窓生の方がお店を経営されているやお勤めの会社の宣伝をしたいなどありましたら、是非お問い合わせください！こちら側からの取材でもOKです！また同窓会でやってほしいことなどもご意見をください！

E-mail:info@kbd.sc（事務局）

久留米大学文学部同窓会会報　第29号
2025年11月発行

発　行　人　　吉良　強志
発　行　所　　久留米大学文学部同窓会
〒839-8502
久留米市御井町1635
TEL.0942-41-8771
E-mail:info@kbd.sc
https://www.kbd.sc
印　刷　所　　香和印刷株式会社